



ハイネス雅

ここからは最新の研究成果について紹介します。

これはバラの新品種「ハイネス雅」です。平成6年に発表し、皇太子妃「雅子」様にも通ずることから同年4月に皇太子殿下に献上されました。

今秋お子様の誕生をひかえて、またPRされることになるかもしれません。



ロゼヴィアン

これも切り花新品種「ロゼヴィアン」です。よく似た人気品種「ローテローゼ」と比較して葉がコンパクト、花首が短い、草姿が優れていることから市場評価も高く、県内で多くの生産者が栽培しておられます。



スイングベル

当県は切りバラと並んで鉢植えのミニバラの生産が盛んに行われています。

これはミニバラの新品種「スイングベル」です。小輪で花数が多く、日持ち性に優れた品種です。



トレゾアレッド

次にトルコギキョウです。

白にピンクの覆輪の「トレゾアレッド」は花色が鮮明で、揃いが優れているのが特徴のF1品種です。

他に白に紫の覆輪の入った「トレゾアパープル」も種苗登録を行っています。



岐 1 0 8 号

水稻についても縞葉枯病に強く、食味の優れた品種の育成を目指しています。薬培養により育成した「白雪姫」や縞葉枯病抵抗性を持ち、食味の良い「岐108号」などを発表しました。

現在も、「ハツシモ」と同程度の品質を持ち、栽培しやすい品種育成に取り組んでいます。



水稻の不耕起直播栽培技術

次に栽培関連技術開発の研究を紹介します。

これは省力、低コスト稲作技術として技術開発を進めている不耕起直播き栽培の状況です。

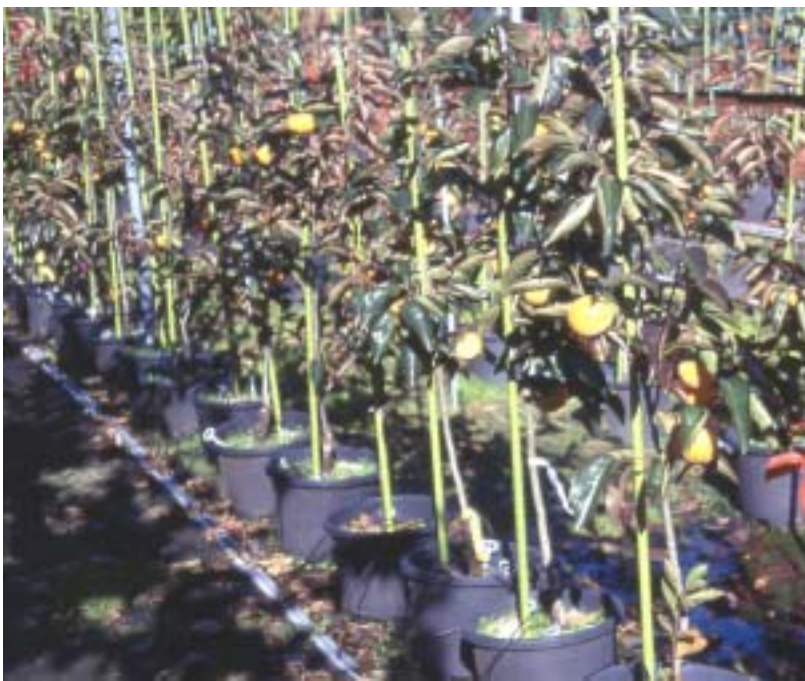
移植栽培を上回る成績を上げ、現地においても100haほど取り組まれるようになっていきます。



濃姫を用いたイチゴの高設栽培

これは研究所で開発した新品種「濃姫」を用いた岐阜方式の高設ベンチ栽培です。培地にヤシ殻ピートを用い、環境に優しく、設置費が安いのが特徴で、現在では、県内で25haほどがこの栽培方式で栽培されています。

なお、「濃姫」は大果になるうえに、糖度と酸味のバランスの良い品種です。



カキのコンテナ栽培

カキのコンテナ栽培です。コンテナ栽培により樹高制限等の技術を合わせて単位面積当たりの栽植本数が確保され、多収となります。

また、水管理が適正に行われ、品質向上にもつながります。現地で14戸の農家が生産に取り組んでいます。



カキの促成栽培

これはカキの促成栽培のスライドです。

1月中旬から加温することにより通常より2ヶ月早く、7月中旬から収穫可能となります。

組織



組織体制

現在の県研究機関の体制図です。

科学技術振興センターのもとに農業、工業、林業、環境・衛生など全ての分野の研究所が組織されています。